



神埼市立脊振中学校 学校だより

樹人舎 第16号

令和6年1月10日 校長 牟田美弥子

【学校教育目標】

脊振を愛し、進んで学ぶ、たくましい子どもの育成

【令和5年度の生活目標】

- ①自分たちで学校のよい雰囲気をつくる
- ②周りに信頼されるにはどうあるべきか考えて行動する



☆あけましておめでとうございます！

今年の干支は、甲辰（きのえたつ）。「成功」という芽が成長していきその姿を整えていく年、また、努力すれば実りやすい年、進化・成功の年とされています。

中国の黄河の上流（姉妹校の山西大学附属中学校のある山西省と陝西省の間）に、「龍門」と呼ばれる場所があり、急流の大変な難所となっています。

その昔、「この大変な難関である龍門を登りきった鯉だけが龍になる」という言い伝えから登竜（龍）門という言葉ができ、龍は進化・成功のシンボルとなっているそうです。

生徒たちが、それぞれの試練を乗り越え成長していく年となるように、職員一同、精一杯応援していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

1月1日の能登半島地震において、被災された関係の方々には心よりお見舞い申し上げます。少しでも早く復興ができますよう願っています。

☆生徒会も新しい1年が始まりました！



神埼市中学生サミットで自己紹介

冬休みに神埼市中学生サミットが開催されました。令和6年の生徒会を率いる宮田生徒会長をはじめ新生徒会役員が、令和5年の活動報告と令和6年の活動計画を堂々と発表しました。学校では、生徒たちが3委員会に分かれ計画に沿った活動を実行していきます。

☆中国の姉妹校から年賀状が届きました



日本語・英語で届いた年賀状の一部



山西大学附属中学校の校舎（絵葉書）

脊振中と山西大学附属中との姉妹校締結は1989年です。

毎年脊振中からも年賀状を送っています。

旧脊振村・神埼市のお力添えと保護者・地域のみなさまのご協力をいただきながら、これまでずっと生徒同士の交流が続いてきたことに感動を覚えています。

裏面に、姉妹校の李奮平校長先生からの新年の挨拶状を掲載しています。これは、保護者・地域のみなさま宛のものを、学校が代表して頂戴したものだと思ひます。どうぞご覧ください。

山西大学附属中学校との交流を、これからも大切につないでいきたいと思ひます。



おおよその地図を
かいてみました。

☆2月の予定

毎月の予定は、学校ホームページの
カレンダーでご確認いただけます。

- 2月 3日(土) 立志式(午前) ※土曜開校日
- 2月11日(日) テストのため部活動中止(～15日)
- 2月14日(水)～1・2年学年末、3年課題テスト
スクールカウンセラー来校(午前)
- 2月21日(水) スクールカウンセラー来校(午後)

「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ（歌人：俵 万智）

山西大学附属中学校

尊敬する牟田美弥子校長先生

万象が更新され、人間の歳が変わり、天地が春に戻る際に、牟田美弥子校長先生におかれまして、ご健勝のことをお慶び申し上げます。

脊振中学校はこれまで私たちの学校の親密なパートナーであり、疫病時代の終了に伴い、私たちはより多くの機会を得て教育交流を回復し、強化することができます。私たちはこのチャンスを把握し、新しい年に引き続き協力を深め、共同で教育事業に新たな活力を注入し、社会のためにより多くの優秀な人材を育成することを望んでいます。

新年を迎えるにあたり、学生たちは年賀状を書いて、日本の友人たちに新年のお祝詞をお送りします。来年の会える日を楽しみにしています。

最後になりまして、牟田美弥子校長先生をはじめ、先生方々と生徒皆さんは新しい1年間の健康、仕事が順調で、万事順調であることをお祈り致します。脊振中学校が無事にますます向上することをお祈りいたします！

2023年11月23日

山西大学附属中学校：李奮平